

法政大学 学生ピア・ワークショップを開催しました

理想のシラバスを書いてみよう

—こんなのが欲しかった—

2016年3月22日(火)に、「法政大学学生ピア・ワークショップ 理想のシラバスを書いてみよう—こんなのが欲しかった—」をポアソナードタワー3階のピア・ラーニング・スペースで開催しました。

就職活動解禁直後、春休み中のせいか、参加者は少なかったですが、他大学の学生も交えて、内容の濃い話し合いが行えました。

はじめに、参加者がこれまで履修した科目を図式化することで整理をし、自身の学びにおいて充実または不足している部分を明確にしたうえで、個人発表を行いました。

次に、グループワークを二段階に分けて行いました。まずは、理想のシラバスに必要な項目について、各々意見を出し、整理を行いました。授業改善アンケートに基づく客観的データや、教員からの授業PRポイント、関連する科目情報などがあると良いなどの意見が出され、議論をした結果、以下の8つの項目に決定しました。

1. 授業目的
2. カリキュラム
3. 教科書・関連図書
4. 成績評価
5. 他授業との関連
6. 履修学生による客観データ
7. 授業担当教員のコメント
8. 学生との交流



次に、ひとつの授業を提案し、上記の項目に従って、シラバスの作成作業を行いました。参加者が話し合いをして、フィールドワークを中心とする「異文化交流入門」という授業について、シラバスの作成を行いました。この授業は日本人学生と留学生と一緒にフィールドワークを通じて、お互いの文化を知ることが目的としています。

ワークショップ終了後、参加者から「シラバスの作成は思った以上に大変」、「15回分の授業内容を分かりやすく、かつ詳細に伝えることがとても難しい」との声がありました。

グループワークの中で、「教員にとってシラバスは『学生との契約書』』という意見があり、「学生が読みたいと思えるシラバスをすることで、『学生との契約書』の効果を十分に発揮できるようになればうれしい」との感想が学生FDスタッフより聞かれました。

